

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	事業所名	洛和看護小規模多機能サービス音羽
所在地	(〒607-8066) 京都府京都市山科区音羽森廻り町 34-8		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

近隣病院を中心に多機関との連携を図り、地域における医療ニーズの高い利用者様の受け入れを行っている。
 地域との関わりを持ち、利用者様が安心して在宅生活が送れるように援助に努め、家族様と利用者様への相談援助に力を入れている。
 地域にとって「安心」と感じていただけるよう、地域包括ケアシステムの一部を担っている自覚を持って、信頼関係性を築いている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 6 日	従業者等自己評価 実施人数	(14) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 30 日	出席人数(合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (___) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (___) 人 <input type="checkbox"/> その他 (___) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> 個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成。定期的に進捗状況を確認する面談を行っていく。 職員全員が事業の運営について周知出来るよう、随時申し送り、掲示をし、定期的に個別に説明していく機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成した。 課内ミーティングにて申し送りを実施、その後回覧している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間的な制限もあり、定期的な進捗状況の確認が一部の職員しか出来ていなかった。 前回よりは少し周知が出来ている。個別に説明する機会が持てなかったが、何度も定期的に繰り返ししていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> サービス全体での現任研修を実施されており内容も理解できた。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> 看取りは現在おられないが、今後に備え、普段からの個々の関わりの医師、病院との関係(情報提供や受診同行、相談等)を築く。 看護小規模としての介護、看護の役割を明確にすることで、より安心感のある事業所とじて頂けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> CM、看護師が中心となり、情報提供、相談等を行っている。看取りの利用者は現在おられない。 業務シフトを随時見直し、前年度より役割は明確になってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 看取りの方はおられないが、現在の対応を継続して、関係性を深めていく事が必要。 個別の体操等がまだ不足しており、随時シフト、時間配分を検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の平均年齢や性別、居住エリア等がわかった。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> 普段からの個々の関わりの医師、病院との関係(情報提供や受診同行、相談等)を築く。 運営推進会議だけでなく地 	<ul style="list-style-type: none"> CM、看護師が中心となり、情報提供、相談等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の対応を継続して、関係性を深めていく事が必要。 	

		域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。		地元児童館と連携を図り、行事等の際はお互い案内し参加している。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。	・地域の合同清掃にも参加。	・アピールしていく方法も検討が出来なかった為、改めて考えていく必要がある。	地域児童館さんとも連携をとられており、今後も継続して頂きたい。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		・看取りは現在おられないが、今後に備え、定期的に事業所内で勉強会を行っていく。	・看取りに関する勉強会は未実施。	・現状の利用者のケアの方法などで勉強会は実施。看取りに関する勉強会も計画的にしていける必要がある。	

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成。定期的に進捗状況を確認する面談を行っていく。 ・職員全員が事業の運営について周知出来るよう、随時申し送り、掲示をし、定期的に個別に説明していく機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス全体での現任研修を実施されており内容も理解できた。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 ・看護小規模としての介護、看護の役割を明確にすることで、より安心感のある事業所と感じて頂けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館と連携されていることがわかった。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、定期的に計画的に事業所内で勉強会を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

※「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします